

白梅

公益財団法人

栃木県ひとり親家庭福祉連合会

宇都宮市野沢町4-1

☎ 028(665)7806

発行人 栗橋幸子

印刷所 高橋平版社

ごあいさつ

栃木県保健福祉部

部長 山本 圭子



本年四月に栃木県保健福祉部長に就任いたしました山本と申します。公益財団法人栃木県ひとり親家庭福祉連合会機関誌「白梅」の刊行に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

栗橋会長をはじめ、理事の方々や会員の皆様には、ひとり親家庭等の方々の生活の安定と

ごあいさつ

栃木県ひとり親家庭福祉連合会

会長 栗橋 幸子



昨年六月に県ひとり親家庭福祉連合会会長

に就任し、早くも十か月がたとうとしています。その間、介護員養成研修、医療事務研修、パソコン研修等の開催、新規事業の高等職業訓練促進資金（高等職業訓練給付金を受給している

福祉の向上に向けて、日頃から、一方ならぬ御尽力をいただいております、改めて深く感謝の意を表する次第であります。

さて、ひとり親世帯の生活は依然として厳しい状況にあり、平成二十五年に厚生労働省が実施した国民生活基礎調査により、平均所得が六〇三万円であるのに対し、母子世帯は一七九万円と三割程度にとどまっております。ひとり親世帯の五四・六％は相対的貧困世帯であるとの結果が出ております。

また、ひとり親家庭の子どもも多くは、親との離別・死別等により精神面や経済面で不安定な状況に置かれており、経済面での支援のほか、子どもたちの

ひとり親が対象の貸付など、ひとり親家庭の就労支援を中心に無事終了することができました。ひとえに会員並びに関係機関の皆様のご理解、ご支援の賜物と感謝しております。

本年度は前年度事業に加え、会の自主事業として貧困の連鎖解消を目的とした「学習支援事業（無料学習塾）」を、すでに実施し成果を出しつつある那須塩原市に続き、鹿沼市、高根沢町においても開催予定です。

このことについては、去る二月二十七日付の地元新聞（下野新聞）一面トップに掲載され、高根沢町では議会で取り上げら

生活向上を図ることが、貧困の連鎖を防止する観点からも大変重要であると言われております。これらを踏まえ、県では、平成二十七年三月に策定した「とちぎ子ども子育て支援プラン」の中に、ひとり親家庭への支援や貧困の世代間連鎖を防ぐための具体的な取組を盛り込み、昨年度は「高卒認定試験合格支援事業」や貴連合会への補助事業である「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業」を開始しました。

さらに、今年度からは、ひとり親家庭等の経済的に困難な状況にある子どもたちへの生活支援として、食事や学習の場を提供する「子どもの居場所づくりサポート事業」を開始し、子ども

の分責任の重さも増しますが、一人でも多くのお子様学習に自信を持ち、未来に夢を持てるよう支援していきたいと存じます。開催地の皆様におかれましては会員のみならず、様々な方にご周知願います。

また「子どもの貧困」もひとり親家庭にとって大きな問題ですが、その世代が子育て終了後、寡婦の「女性の貧困」が大きな問題となるでしょう。現に若いひとり親達から、子どもが巣立った後の老後を心配する声が多く聞かれます。

特に離別や非婚のひとり親家

もの貧困対策を積極的に推進していくこととしております。今後とも、引き続き、貴連合会と連携しながら、ひとり親家庭への就労支援等、各種事業の効果的な実施に向けて取り組んで参りますので、御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴連合会におかれましては、ひとり親家庭の総合的な福祉を推進する県内唯一の母子・父子福祉団体として、ひとり親家庭の生活の安定と向上のため、より一層御尽力いただくことをお願い申し上げますとともに、栃木県ひとり親家庭福祉連合会の今後益々の発展を御祈念申し上げます。

庭の母は、不安定な就労のため年金額も低く預貯金も少ない上、借家の方の割合が高いため貧困に陥る可能性があります。

遺族年金や終世税控除がある死別の寡婦が世帯と大きな相違があり、今後問題解消に向け運動していく必要があります。

このような様々な問題解決のため、私たちの会は皆様と共に考え、行動する団体であらねばと考えております。誰のためでもなく私たち、そして子供たちの未来のため一緒に会活動の輪を広げていきませんか？

地区だより

那須烏山市

高田 クミ

那須烏山市社会福祉協議会は、毎年十一月の第一日曜日に福祉祭を開催し、そのイベントに母子寡婦福祉会も参加させていただいております。毎回焼きそばを調理販売しておりますが、一人の会員の提案で同じキャップを着用したらどうか?と言うことになり、九月二十四日烏山公民館で縫製に取り掛かりました。完成し記念写真を撮りました。福祉祭には全員で着用し、社協の方からも「お揃いの帽子でいいですね。」と写真を撮ってもらいました。また、農業をする時や庭の草取りをする際も使いやすいです。皆さんも作ってみたいかがでしょうか。

高根沢町

栗橋 幸子

二十八年度は、会長、母子部長が交代し不安でいっぱいだったけど、先輩方のエールを受け何とか一年が無事過ぎようとしています。何より母子部が継続でき、若い世代が日帰りバス旅行やフラワーアレンジメント等、今まで以上に活動の幅を広げている姿を見る事ができ嬉しい限りです。

寡婦は、十一月二十四日に栃木市との交流を持ちましたが、当日何と数十年前ぶりの大雪で、果して参加者があるのかと心配しました。しかし、バスいっぱい笑顔を見て「この笑顔が会を支えてきたのだ。」と改めて納得しました。訪問先の栃木市では、役員さん達が熱いけんちん汁で迎えてくださり、心まで温かくなりました。ありがとうございました。

また私達の会は、県の連合体事業としてさくら市のひとり親家庭のメンバーとも連携して活動しています。休会した町の復活のモデルになればと頑張っています。

茂木町

川田 芳子

会員の皆様におかれましては色々とお活躍のことと思います。茂木町ひとり親家庭福祉会では、十二月二十三日にクリスマスケーキ作りを行い、七組の方が集まり私達スタッフ三名と合計十四名の参加となり賑やかに楽しく過ごしました。この行事により当会も少し明るい見通し

栃木市

桑原 左千恵



になったかと思えます。また一月に、芳賀郡で最初の子ども食堂「みんなの台所」も会員二名を含めてオープンとなりました。ここまでこれたのは町社協の大きなお力添えがあったことと感謝しております。今回は写真を見ていただいて会の報告といたします。

栃木市では、昨年の七月から「こども食堂」を開いています。これは、栃木市ひとり親家庭福祉会が単独で行っているのではなく、複数のボランティア団体も協力して運営しており、当会もそのメンバーになっています。毎月第二土曜日に市内の施設を借りて開かれ、様々な事情で親と一緒に食事が取れない子ども達に昼食を提供し、学習指導やスポーツ、団体での遊び等を行っています。各団体が分業という形で仕事を分担し、当会は全体の管理という役目になっています。従って時には学習指

日光市

山口 絹江

導、時には遊び、時には食事の後片付け等様々な分野で協力させて頂いております。提供される食事は、バランスの取れた品数も豊富なもので、たつぷりと愛情がこもっています。大人も子どもも対等な立場で初対面の人達ともワイワイおしゃべりをしながら大勢でいただく食事は、ことさら美味しく感じられます。

最近の子ども達は大人数で遊ぶ機会があまり無いらしく、最初は戸惑った様子でしたが時期に慣れ、目を輝かせながら参加しています。

子ども達の笑顔が絶えない空間を作るため、当会としてもできる限り協力して行きたいです。

那珂川町

北條 光子

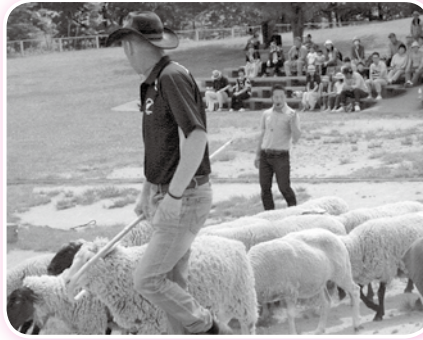


ったので、ほっとしました。花の見学が終わりバスに乗ったとたん大雨になりましたが、日光に着いた時には上がり日頃の品行方正に感謝? 初めての加入促進バス旅行、新規加入者もあり、幸運に導かれ良い思い出となりました。また来年も何処かに連れて行って欲しいと言われ大成功でした。

青空のもと、六月十二日(日)に那須どうぶつ王国へ行ってきました。若年部の人が三名ほどいて子どもさんもおられることだし、動物が見られるここがいいのではないかと決めたのですが、いざ蓋を開けてみると、残念ながら若年部の人は来ませんでした。当日来られない人もおり八名参加の少人数でしたが、和気藹々で楽しんでました。オーストラリアから来たという外国人の指示ひとつで忠実に働く、牧羊犬による羊の追い込みやねぐらまでの誘導などとても面白かったです。また、猫の

芸も大したものだなと思いましたが。猫は犬と違って家にはなつくけど人にはなつかず勝手気ままに動きまわるその猫達に、綱渡りや脚立の昇り降りを教えるのは容易ではなかったことと思います。猫の耳を付けピンクの衣装で猫達を指示誘導していた若いお嬢さん達がとても愛らしかったです。

レストランが以外と遠く足の弱い年配者には歩くのが大変です。軽食程度でもいいので持参して、猛禽類のショーなど見ながら外で食べることをお勧めします。



那須塩原市

相馬 朋恵

学習支援ボランティアの話を聞いたのは、娘が六年生の冬の時期でした。これから迎える中学生生活について、周囲からは大変だという言葉ばかりが聞こえてくる。勉強は学校だけでは追いつかないよ...という話も聞くようになってきた時でした。娘が小学校時代は、勉強が解らないと言われれば必死に親が勉強して教え

たり、問題集をインターネットから見つけたりしながら教えてきました。が、中学生の勉強は教える自信がまったくなりませんでした。塾に通わせるのは難しい、さてどうしたものか?と悩んでいた時に母子会での学習支援ボランティアの話でした。週二回で一回二時間。数学と英語を教えていただき二年が経ちます。学校で解らなかった所や理解できなかった所を質問したり、勉強している問題を教えてもらい、また先生が出てきてくれる問題を解いたりしています。中学校の先生には数学が得意と思われくらい安定した成績でいます。英語は中学校最初のテストでは、頭を抱えるものでした。アルファベットも怪しい感じだったのですが、平均点より点数が取れるようになって、苦手な教科ではなくなっています。二教科とも成績は安定しています。学習する場を作っていただいている事は本当にうれしく思っています。

勉強だけでなく、学習支援ボランティアの先生には色々な事を教えてもらっています。先生が経験してきた事将来の事等々。娘にとっては色々な話を聞けることで広がる世界もあると思います。成績だけではなく、個々の長所を伸ばすように支援していただけるので、本当に学習支援ボランティアがあり先生方と出会えたことに感謝しています。

この支援がこれからも続き、中学生だけでなく、高校生までと延長ができれば嬉しく思います。勉強を続けたい子どもに支援が届く事を切に願います、これからも宜しくお願ひいたします。

来てね!小山



荒木 ヒロ子

小山市は、宇都宮線・両毛線・水戸線の交わる立地条件に恵まれた「開運のまち」として栄えています。南北に流れる思い川を中心に、日光の山並みや富士山までも見える自然豊かな、そして食にも恵まれ、食のブランドは五十号線添いの道の駅思川に多数揃えてあります。春には小山ブランドの思川桜が見頃となり各地域の堤防でそれぞれ桜まつりが開催されます。また、渡良瀬遊水池は東京ドーム約七百倍に当たると言われていますが、三月には害虫駆除を目的にヨシ焼きが行われ、炎

は十メートル位まで上がる風景はテレビでも放映される程圧巻で春の風物詩であり、春夏秋冬楽しめる場所です。その他市内には古墳も多く、見学は勿論身近に親しまれ、時期にはイベントも開催されています。多くの歴史や文化は市立博物館やボランティアガイドも利用できます。江戸(徳川)幕府を天下分け目の関ヶ原の決戦で勝利に導いた軍議が小山で開かれた由来で、小山評定の石碑も市役所入口近くに建てられています。小山の魅力はまだまだ沢山ありますので是非見て食べて満喫されては如何でしょうか。

平成28年度 社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

11月11日(金)に開催された平成28年度全国社会福祉大会において、永渕久子顧問が「社会福祉功労者厚生労働大臣表彰」を受賞されました。

長年にわたり社会福祉事業に従事し、発展向上に顕著な功績があることが評価されました。

おめでとうございます。



平成29年度 行事予定

- 介護職員初任者研修
5月14日～12月10日 県央会場
5月21日～12月17日 県南会場
- 巡回相談
県内各市及び4地域
6月から順次開催
- ひとり親家庭福祉研修大会
7月2日～7月3日
- 医療事務研修
8月5日～1月13日
- 県民福祉のつどい
8月29日
- 関東ブロック研修大会
9月24日～25日(新潟県長岡市)
- 親子ふれあい会
10月7日
- サポーターのつどい
10月29日
- 全国研修大会
11月4日～5日(愛知県名古屋市)
- 家庭生活支援員養成研修
1月20日～2月24日 土曜コース
1月21日～2月18日 日曜コース

受講生の声

初任者研修を受講して

S・T

私が初任者研修を受講したきっかけは、仕事上の車のラジオでした。その当時、配達の仕事に就いていました。毎日ラジオで、受講募集を聞き、以前から何か資格を取得したいと思っていましたので、娘や両親に相談し受講する事を決めました。厚みのあるテキストを二冊受け取った時、正直七ヶ月間続けていけるか不安でした。しかし同じ境遇、年代はバラバラですが、気の合う仲間もできて、お互いに励まし合い最後まで受講する事ができ、無事修了する事ができました。

現在は、転職し障がい児の支援にあたり、充実した毎日を過ごしています。今まで学んできたQOL(その人らしい生き方)の観点を忘れずに、介護職の倫理を常に自覚し、支援にあたっ

介護職員

初任者研修を受講して

S・F

この研修を無事修了した今、達成感と喜びでいっぱいです。研修が始まる前は、約七ヶ月という長期間、自分に最後までやり遂げることができたか、途中で挫折してしまうのではないかと不安だらけでした。いざ研修が始まり初日は緊張したまま一日を過ごしました。しかし、何回か進むに連れ一緒に受講した仲間達とも打ち解け合い、演習では楽しく学ぶことができました。研修期間も残り少なくなってきたと寂しささえも感じました。

講義では、先生方から現場での体験談や色々な指導を受け、今後、介護職として働こうとする者や実際現場に携わっている者にとっては、とても勉強になりました。

医療事務研修を受講して

A・K

市役所の母子自立支援員さんにこちらを教えてもらい応募したのがきっかけでした。少し育て難い一人っ子に手を焼いて、途中で通えなくなったのではないかと不安になったりもしましたが、勉強中は安心して預けていられる託児があり仕事と子育てと勉強を共に頑張る仲間を励みに、なんとか最後まで通う事ができました。

先生の解り易い説明や経験上のクスツと笑える知識等々、通わなくて得られない事が沢山ありとても為になりました。ここで学んだ事を活かしたいと思っても知識を深めて行きたいと思

家庭生活支援員養成研修を受講して

山田 光穂

私は母子寡婦福祉会(母子会)に入っており、会長や先輩からの情報でこの研修を知りました。現在、二人の子育てをしており「私にも、できるかもしれない」と思い受講することに致しました。研修には男性も居いらしたし、二十代の人から孫の世代の方々を受講されています。

研修では発達に合った遊びや接し方、成長に合わせた食生活



児童の病気、救急時の対応など各分野の講師の方々から学ぶことができました。そして大切なお子様をお預かりすることの責任の重さを感じました。一日だけでしたが保育実習もあり、一歳から六歳児までのクラスを先生としてお手伝いをさせて頂きました。ブロックや手遊び、一緒に歌を歌い、外でドッチボールをしたりと、とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。「六年間の成長はすごい」と改めて実感しました。最終日の座談会では「受講して良かった」「家庭生活支援員として、お役に立ちたい」と頼もしい意見が聞かれました。子育てに携わることでも一人でも多くの人が活動が見守ってくださることです子供達が安心して生活できる環境を作れるようお力添えを頂ければ幸いです。微力ではありますが私もお手伝いさせて頂きたいと思

います。先生方や事務局の皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。

平成二十九年度 児童福祉週間標語

できること
たくさんあるよ
きみのてに

編集後記

昨年は、当連合会の会長・副会長の交代がありました。色々行事を行う中で、前役員さん達の偉大さに感謝するばかりの一年でした。白梅を発行するに当たり、歴史ある広報誌を繋いで行くことの重みを感じずにはいられませんが、広報部員一同一生懸命努めて行きますので、これからも宜しくお願い申し上げます。

〈広報部会〉
田口・齋藤・高田・荒木
山口・木村・小葉・三田
織田・福田

「白梅」は、赤い羽根共同募金
配分金により発行しています。